

「製造のあらゆる技術は鍛造から始まる。現場を見て興味を持つことで学生が伸びてくれれば」と話すのは、ものづくり大学（埼玉県行田市）の鈴木克美教授。研究室の学生7人が11日、銅合金鍛造・鍛造メーカーの三芳合金工業（埼玉県三芳町）を見学した。写真。同社は溶解鍛造から機械加工まで幅広く手掛けるいわば「銅合金のデパート」。光海底ケーブルシステムや航空機の部材など、先端の分野を支える素材を製

「ものづくり大学」鈴木研究室 三芳合金の工場を見学



銅合金の鑄・鍛造工程に関心

造している。同大学は実学を重視しており、現場で現物としており、現場で現物

に触れながら課題を解決している。夏場の熱気で決する教育に注力。鈴木教授は日本ガイシや若手社員に熱心に質問する姿も。

旭テックなど民間企業の技術者を経て、技能工芸学部製造学科で鍛造に関する研究を主催している。メンバーの7人は三芳合金で溶解や鍛造、品質保証などさまざまな工程

はものづくり大学からの就職があるほか、インターンを受け入れるなど関係が強い。見学後は同社の概要説明などが行われ、萩野茂雄社長が学生を激励した。鈴木教授は「三芳合金はトップが人材育成を重視しており、銅合金に関する技術を徹底して追求している」と話している。

金矢

金岡

森戸

尾川